

広島県感染症発生動向月報
[広島県感染症予防研究調査会]
(令和7年2月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 3月1日(土)～3月7日(金)は「子ども予防接種週間」！



令和7年3月1日(土)から3月7日(金)までの7日間は、「子ども予防接種週間」です。この時期は、接種漏れを見直すのに最適な時期です。4月からの入園・入学に備え、必要な予防接種を済ませ、病気を未然に防ぎましょう。

○ 予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められており、予防接種を延期すると、感染症にかかるリスクが高い状態となります。

○ 予防接種に関する質問は、かかりつけ医に御相談ください。

○ 予防接種が受けられる医療機関については、お住いの市町の予防接種担当課へお問合せください。

○ 予防接種を希望される方は、医療機関へ事前に予約しましょう。

👉 **公費によるHPVワクチン「キャッチアップ接種」期間についてのお知らせ**

○子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの接種を逃した方に、公費によるキャッチアップ接種（平成9年度～平成19年度生まれの女性の方対象）の機会を令和4年4月～令和7年3月の3年間提供しているところですが、経過措置として2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方は2025年4月から1年間に限り、残りの接種を公費で受けられることになりました。（令和7年度は平成20年度生まれの女性も対象）2025年3月末までに1回目を受けることをご検討ください。

(2) **新型コロナ医療ひっ迫注意報発令中！感染性胃腸炎などの感染症にも要注意！**

令和6年第52週（12月23日から12月29日）の県内定点医療機関からの新型コロナウイルス感染症の報告患者数が、東部保健所管内で、本県独自に設定した注意報開始基準値（定点当たり8）を上回ったため、令和7年1月9日に県内全域に「新型コロナ医療ひっ迫注意報」を発令しました。直近の令和7年第8週（2月17日から2月23日）では、福山市保健所管内で定点当たり8を超えているた



め注意報を継続中です。また、令和

7年1月30日に「A群溶血性レンサ
球菌咽頭炎警報」を発令しました。

さらに、1月から2月にかけて「感染性胃腸炎」が増加しており、複数の施設でノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の集団発生が確認されているため、今後注意が必要です。

感染症流行の拡大防止のために、
場面に応じたマスク着用や手洗い
等の感染予防の徹底をお願いします。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年 1月分(令和6年12月30日～令和7年2月2日:5週間分)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号		疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記 号
1	インフルエンザ	10,600	19.03	6.35		11	ヘルパンギーナ	2	0.01	0.05	
2	新型コロナウイルス感染症 (covid-19)※1	3,265	5.86			12	流行性耳下腺炎	6	0.02	0.03	
3	RSウイルス感染症	160	0.46	0.27		13	急性出血性結膜炎	2	0.02	0.01	
4	咽頭結膜熱	123	0.35	0.66		14	流行性角結膜炎	104	1.21	0.46	
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	613	1.76	1.06		15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	感染性胃腸炎	1,853	5.31	6.54		16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
7	水痘	48	0.14	0.12		17	マイコプラズマ肺炎	131	1.31	0.05	
8	手足口病	30	0.09	0.28		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	33	0.09	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.04	0.01	
10	突発性発しん	49	0.14	0.22		※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年 1月分(1月1日～1月31日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
20	性器クラミジア感染症	65	2.83	3.31	↗	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	4.14	3.43	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	29	1.26	1.00	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0.24	0.11	
22	尖圭コンジローマ	12	0.52	0.74	→	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
23	淋菌感染症	22	0.96	1.55	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.17 → 0.46)
○急減疾患 手足口病 (0.33 → 0.09)
マイコプラズマ肺炎 (2.63 → 1.31)

発生記号(前月と比較)

急増減	↗	↘	1:2以上の増減
増 減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内170の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	41	70	17	22	20	170

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾 患 名 (管轄保健所)
一 類	0	発生なし
二 類	27	結核(27)〔西部保健所(4)、西部東保健所(3)、東部保健所(6)、北部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
三 類	3	腸管出血性大腸菌感染症(3)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(1)〕
四 類	8	E型肝炎(1)〔福山市保健所(1)〕 デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(6)〔西部保健所(3)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、福山市保健所(1)〕
五 類	68	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(5)〔西部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(2)、呉市保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔西部保健所(1)〕 急性脳炎(6)〔西部東保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(2)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(6)〔広島市保健所(5)、福山市保健所(1)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(3)〔西部保健所(2)、福山市保健所(1)〕 侵襲性髄膜炎菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(8)〔東部保健所(1)、広島市保健所(5)、呉市保健所(2)〕 播種性クリプトコックス症(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(22)〔西部保健所(1)、東部保健所(3)、広島市保健所(9)、呉市保健所(5)、福山市保健所(4)〕 百日咳(15)〔西部保健所(2)、西部東保健所(1)、広島市保健所(14)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2025年1月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27												27
	小 計	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3												3
	小 計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
四類	E型肝炎	1												1
	A型肝炎	0												0
	エムボックス	0												0
	つつが虫病	0												0
	デング熱	1												1
	重症熱性血小板減少症候群	0												0
	日本紅斑熱	0												0
	日本脳炎	0												0
	マラリア	0												0
	レジオネラ症	6												6
	レプトスピラ症	0												0
	小 計	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
五類全数	アメーバ赤痢	0												0
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0												0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5												5
	急性弛緩性麻痺	0												0
	急性脳炎	6												6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1												1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6												6
	後天性免疫不全症候群	0												0
	ジアルジア症	0												0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3												3
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1												1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8												8
	水痘(入院例)	0												0
	破傷風	0												0
	梅毒	22												22
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0												0
	百日咳	15												15
	風しん	0												0
	播種性クリプトコックス症	1												1
	麻しん	0												0
	小 計	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
合 計		106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類：	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類：	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類：	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類：	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数：	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年1月1日～2月17日

資料作成：令和7年2月17日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
89	104	70	23	11

2 四類感染症からの検出状況

検出なし

3 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	33	33	鼻咽頭, 咽頭, 喀痰, 気管吸引液	R7. 1月～2月	0～92	西部東, 東部, 東部(福山), 広島市
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	16	16	鼻腔, 鼻咽頭, 咽頭	R7. 1月～2月	5～68	西部東, 東部, 東部(福山), 北部, 福山市
	AH3型インフルエンザウイルス ※	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	8	北部
感染性胃腸炎	ノロウイルスGⅡ(NT)	1	1	便	R7. 1月	2	西部東
	ノロウイルスGⅡ(NT)+エンテロウイルスNT	1	1	便	R7. 1月	2	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	3	3	鼻咽頭, 咽頭	R7. 1月～2月	3	西部東

※ 1月下旬に北部保健所管内の患者1名から、AH3型インフルエンザウイルスが検出されました。今シーズン初です。

4 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	エンテロウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	11	西部東
	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	0	西部東
	RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	14	西部東
	ヒトコロナウイルスHKU1	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	5	西部東
	ヒトコロナウイルスOC43	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	17	西部東
下気道炎	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	1	西部東
	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	1	西部東
	ヒトメタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	0	西部東
	ヒトメタニューモウイルス+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	11	西部東
	ヒトコロナウイルスHKU1+新型コロナウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	2	西部東
かぜ様症状	ヒトメタニューモウイルス	1	1	咽頭	R7. 2月	5	北部
	ヒトメタニューモウイルス+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	3	北部
	マイコプラズマ・ニューモニエ	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	9	北部
感冒	新型コロナウイルス+パラインフルエンザウイルス2型	1	1	鼻咽頭	R7. 1月	9	北部
マイコプラズマ感染症疑い	マイコプラズマ・ニューモニエ+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 2月	10	北部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和7年1月1日～令和7年2月17日）

保健所地区	検体数	疾 患 名 （検体数）
西部	0	
西部（広島）	2	新型コロナウイルス感染症(2)（広島市内）
西部（呉）	0	
西部東	29	インフルエンザ(3), 新型コロナウイルス感染症(5) 感染性胃腸炎(2), 咽頭結膜熱(3), 上気道炎(11), 下気道炎(5)
東部	45	急性脳炎(5), 急性弛緩性麻痺(6), インフルエンザ(6), 新型コロナウイルス感染症(24), その他(4)
東部（福山）	3	インフルエンザ(1), 新型コロナウイルス感染症(2)
北部	18	ダニ類媒介感染症疑い(2), インフルエンザ(4), 感染性胃腸炎(1), 上気道炎(1), 下気道炎(1), 感冒(2), かぜ様症状(6), マイコプラズマ感染症疑い(1)
福山市	4	インフルエンザ(4)
呉市	3	ダニ類媒介感染症疑い(3)

病原体（細菌）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

資料作成：令和7年2月18日

対象期間：令和6年10月1日～令和7年1月31日に依頼されたもの

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 保健所別検査依頼受付状況

保健所地区	菌株数	疾患名（菌株数）
西部	5	腸管出血性大腸菌感染症（3）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（1）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（1）
西部(広島)	0	
西部(呉)	0	
西部東	3	腸管出血性大腸菌感染症（1）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（1）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（1）
東部	0	
東部(福山)	1	腸管出血性大腸菌感染症(1)
北部	4	腸管出血性大腸菌感染症（1）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（3）
福山市	3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（1）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（2）
呉市	9	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（9）
合計	25	

2 五類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断 年月日	依頼 年月日	患者の 年齢	発生地区	菌種	性状
腸管出血性 大腸菌 感染症	R6. 9. 17	R6. 10. 8	56	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：OUT:H21、ペロ毒素型：VT2
	R6. 10. 7	R6. 10. 9	23	北部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：091:HUT、ペロ毒素型：VT1
	R6. 10. 15	R6. 10. 21	69	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0115:H10、ペロ毒素型：VT1
	R6. 10. 31	R6. 11. 8	48	東部福山	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT2、MLVA型：24m0576
	R6. 11. 16	R6. 11. 22	16	西部東	<i>Escherichia coli</i>	血清型：0157:H7、ペロ毒素型：VT1、VT2、MLVA型：24m0615
	R6. 12. 23	R6. 12. 25	65	西部	<i>Escherichia coli</i>	血清型：OUT:H11、ペロ毒素型：VT1

UT:型別不能

3 五類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断 年月日	依頼 年月日	患者の 年齢	発生地区	菌種	性状
カルバペネム 耐性 腸内細菌目 細菌感染症	R6. 10. 2	R6. 10. 3	78	西部東	<i>Klebsiella sp.</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 9. 30	R6. 10. 4	72	呉市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 9. 26	R6. 10. 7	81	北部	<i>Serratia marcescens</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 10. 2	R6. 10. 9	65	福山市	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：ESBL、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：SHV型、TEM型、CTX-M-1 group
	R6. 10. 23	R6. 10. 28	84	北部	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：EBC型
	R6. 10. 25	R6. 10. 29	81	呉市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 10. 24	R6. 10. 29	69	呉市	<i>Citrobacter braakii</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 11. 14	R6. 11. 18	83	呉市	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 11. 19	R6. 11. 21	92	呉市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 12. 9	R6. 12. 23	73	呉市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 12. 20	R6. 12. 26	89	呉市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 12. 16	R6. 12. 26	74	呉市	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R7. 1. 7	R7. 1. 9	91	西部	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 12. 28	R7. 1. 22	89	呉市	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R7. 1. 18	R7. 1. 27	66	北部	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、 β -ラクタマーゼ産生性：AmpC、 β -ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
劇症型溶血性 レンサ球菌 感染症	R6. 10. 5	R6. 10. 9	65	西部東	<i>Streptococcus pyogenes</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：T1、 <i>emm</i> 型： <i>emm</i> 1、発赤毒素遺伝子： <i>speA</i> 、 <i>speB</i> 、 <i>speC</i> 、 <i>speF</i>
	R6. 10. 28	R6. 11. 5	82	西部	<i>Streptococcus pyogenes</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：T1、 <i>emm</i> 型： <i>emm</i> 1、発赤毒素遺伝子： <i>speA</i> 、 <i>speB</i> 、 <i>speC</i> 、 <i>speF</i>
	R6. 11. 7	R6. 11. 20	59	福山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：T23、 <i>emm</i> 型： <i>emm</i> 49、発赤毒素遺伝子： <i>speB</i> 、 <i>speF</i>
	R6. 12. 26	R6. 12. 26	84	福山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：TUT、 <i>emm</i> 型： <i>emm</i> 1、発赤毒素遺伝子： <i>speA</i> 、 <i>speB</i> 、 <i>speF</i>

UT：型別不能

3 コメント

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症：カルバペネマーゼ産生菌は検出されませんでした。

劇症型溶血性レンサ球菌：*emm*1が3株検出されました。今後、M1_{UK}の解析を実施する予定です。